「子どものための学校事務」１３９号

特集
学校のカタチ

学校はどうなっている？
－子どもの権利が保障される学校でしょうか－

「次世代の学校」が描く学校のカタチ

「チーム学校」は良く見聞きしますが、「次世代の学校」はあまりなじみのない用語だと思われます。2016年に登場した「次世代の学校」とは、政策の中でどう位置付き、どんな“学校のカタチ”を描いているのでしょうか？

「次世代の学校」のねらいと事務職員政策はどこへ向かうのか　／
「学校における働き方改革」から見えてくること　／　予算要求と保護者負担軽減　／
スクール・サポート・スタッフ考　／　「次世代の学校」政策を考えるために

多様化する学校のカタチ

学校規模の大小だけでなく、小中一貫教育や中高一貫教育にともなって学校環境の違いが広がり、“学校のカタチ”が多様化しています。その中にもイキイキと生活している子どもや教職員の姿があります。

多様化する学校のカタチについて　／　小中一貫教育校始まりました　／
地域と共にある学校のカタチ　／　キラキラ輝く！N小学校　／
大規模校だより～職場がいいと頑張れる！～　／　F学園高校

注文はこちらへ

■ http://www.bekkoame.ne.jp/ha/seidoken/
（「制度研」で検索できます）
■ E-mail seidoken@ha.bekkoame.ne.jp

■ 〒１９４－００４５
東京都町田市南成瀬４－１３－１０
植松直人　方
TEL 090-9675-1067 FAX 042-728-1616

特集以外の目次

■【連載】 3・11その後
原発事故から七年とふくしまの現状
■【連載資料】 公教育の無償化を求めた人々Ⅱ
■【連載】 私の事務だより
■資料　義務教育費国庫負担制度の変遷

2018年7月19日発行
A5判　64ページ
500円　（送料90円）

編集・発行　全国学校事務職員制度研究会